

### 第34回 東京都少年柔道大会（兼、第39回全国少年柔道大会 東京都予選）要項

1. 主催 公益財団法人 東京都柔道連盟・読売新聞社
2. 後援 公益財団法人 講道館・全日本柔道少年団・東京都柔道道場連盟
3. 日時 平成31年3月21日（木/祝） 10:30～開場 11:30～開会式
4. 会場 東京武道館 第一武道場 〒120-0005 足立区綾瀬3-20-1 TEL 03(5697)2111
5. 参加資格 (1) 東京都内の柔道場・警察道場・地区体育館及び柔道クラブ等の責任者のいる団体で練習を行っている小学生。  
(2) 出場するチームは、同一所属からは1チームに限る。  
(3) 参加する選手は、原則として平成31年4月30日現在、小学校5年生・6年生の男・女。但し、5年生の補充として4年生をもって充てることもできる。  
(4) 出場するチームは、（公財）東京都柔道連盟を通して、（公財）全日本柔道連盟に団体登録をしていること。また、選手はその団体から登録をしていること。  
(5) 参加チームの監督は、全柔連公認指導者資格（C指導員以上）を有し、（公財）東京都柔道連盟を通して、（公財）全日本柔道連盟に指導者登録をしていること。
6. チーム編成 (1) チームの編成は、道場・体育館・クラブ単位とする。混成チームは認めない。  
(2) 1チームの編成は、監督1名、選手5名とする。  
(3) 選手の編成は、大将・副将・中堅は6年生、次鋒・先鋒は5年生とし、学年順に配列する。ただし、下学年の児童が一学年上の児童の位置に出場することはできるが、3年生以下の出場は認めない（5年生→6年生、4年生→5年生）。また、選手は各学年順に配列し、同学年内は「体重順」に配列すること。尚、10:45～11:15迄、第一武道場内で計量を行う。  
(4) 補欠は無しとし、選手変更は当日の午前10時45分までに届け出た者に限る。  
(5) 試合中のオーダー変更は認めない。
7. 試合方法 (1) 試合は、トーナメント戦で行う。  
(2) 各チーム5名の点取り対抗戦とし、試合毎のオーダー変更は認めない。  
(3) 試合中のケガによる選手欠場が生じた場合のチーム編成は、欠場のままで試合を行う。また、欠場した選手は、当日の以後の試合には出場できない。  
(4) 勝敗決定の方法は、次のとおりとする。  
① 勝ち数の多いチームを勝ちとする。  
② 勝ち数が同じときは内容（「一本勝ち」「技有」の勝ち数）による。  
③ 内容も同じときは代表戦を1回行い、必ず優劣を決する。  
代表戦に出場する選手は「引き分け」の中から抽選で1組を選んで通常の3分間の試合を行う。得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は旗判定で勝敗を決する。（ゴールデンスコアは行わない）
8. 審判規定 (1) 国際柔道連盟試合審判規定（2018-2020）及び国内における少年大会特別規定による。  
(2) 試合時間は、3分間とする。  
(3) 優勢勝の判定基準は、「一本」「技有」「僅差」※1とし、得点差がなく、かつ「指導」差が1以内の場合は「引き分け」とする。合せ技一本は無い。  
※1「僅差」とは、双方の選手間に技による評価（技有）がない、又は同等の場合、「指導」差が2あった場合に少ない選手を「僅差」による優勢勝ちとする。
9. 表彰 (1) 優勝・準優勝・3位（2チーム）の計4チームを表彰する。  
(2) 優勝・準優勝・3位（2チーム）の中より優秀選手を表彰する。  
(3) 優勝チーム及び準優勝チームを全国少年柔道大会へ派遣する。

10. 参加申込 (1) 申込期間 平成31年2月20日(水) ~ 3月6日(水)  
 (2) 申込方法 オンライン申込み  
 (3) 参加費 1チームにつき5,000円  
 申込締切(3/6)までに下記のいずれかの方法で納入のこと。  
 ①都柔連事務局に持参 ②現金書留で郵送  
 (4) 問合せ先 公益財団法人 東京都柔道連盟  
 〒 112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内  
 TEL 03-3818-5639/4246
11. 組み合わせ 平成31年3月8日(金) (公財) 東京都柔道連盟事務局において、主催者が行う。
12. 保 険 (1) 主催者が、参加者全員に対して傷害保険の加入手続きを行い、その費用を負担する。  
 尚、万一の事故発生に備え、参加者各人が別途傷害保険に加入するなどして、万全の事故対策をたてておくこと。  
 (2) 大会中の不慮の負傷、疾病については応急処置を施すとともに、傷害保険の範囲内で責任を負うものとする。  
 (3) 大会当日、参加者は健康保険証を必ず持参すること。
13. そ の 他 (1) 参加選手は、着用する柔道衣に規定の大きさのゼッケンを正しく縫い付ける。  
 (2) 所属名は、(公財)全日本柔道連盟に登録した団体名とする。  
 (3) ゼッケンを取り付けていない選手は、出場できない。  
 (4) ゼッケンの仕様と縫い付け方。  
 ①サイズは横30cm~35cm・縦25cm~30cmとする。  
 ②布地は白地(晒・太綾)。  
 ③書体は太いゴシック体又は明朝体で横書きとし、男子は黒色、女子は濃赤色。  
 ④苗字(姓)は上側2/3、所属名は下側1/3。  
 ⑤縫い付けの位置は、後ろ襟から5cm~10cm下部とし、周囲と対角線に強い糸で縫い付ける。

図1 ゼッケンの縫付方

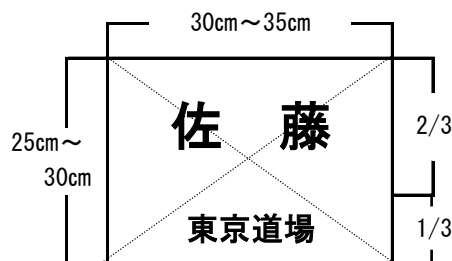
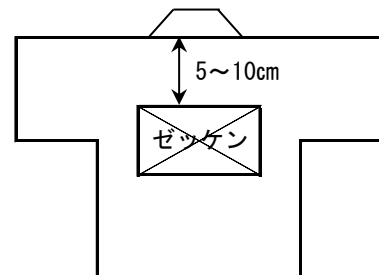


図2 ゼッケンの縫付位置



- (5) 脳震盪対応について  
 選手および指導者は下記事項を遵守すること。  
 ①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。  
 ②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。【なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。】  
 ③練習の再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。  
 ④当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (6) 監督は、背広・ネクタイ着用を基本とし、女性はそれに準じた服装とする。